夕刊 臺灣日日新報 六月八日

正金、獨東亞銀行間 決濟取極調印終る

兩國金融協力に寄與大

大藏次官談

柏木正金頭取談

正金東京支店で調印式

締結

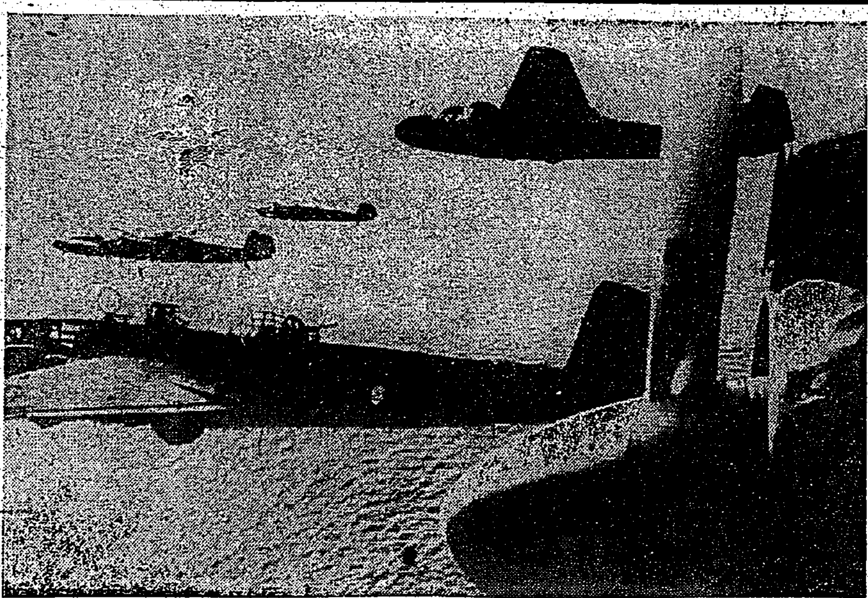
交流

擊沈船舶八十五萬噸

樞軸軍五月中の戰果

【ベルリン七日發同盟】獨軍最高司令部は世界各戰線において日獨伊樞軸軍で五月中に擊沈した船舶を發表した、内譯次の通り

日本軍三十三萬三千噸、獨軍四十三萬噸、伊軍八萬八千噸



南太平洋を制壓する我が海鷲の大編隊【海軍省許可濟第一〇一號】

明日の出擊に炎天下で敢闘する整備員 南太平洋〇〇基地にて【海軍省許可濟第一〇一號】

週間展望

大東亞の天地 目覺しい躍進

支那大陸方面

印緬方面

南方各地

世紀の焦點南太平洋戰線

酷烈な自然との闘爭

航空擊滅戰にみる特性

三つの特性

第二のハワイ

大自然との闘爭

銃後戰線の延長

米炭坑罷業一應終熄

依然再發の危機去らず

千四百六十機擊墜

地中海戰域伊軍の戰果

蠢動の蔣軍に鐵槌

山東省西部に戰果擧る

交易營團

八日業務開始

ショートランド島 空中戰を米側發表

新フランス軍編成

休戰以來最初の正式軍隊

ゴ市宛ら焦熱地獄

民心依然動搖

新内閣顏觸れ

軍人を以て補充

ローソン大統領挂冠

閣僚と意見の衝突から

調査會委員長決まる

最大

チリー内閣總辭職

當面中立を維持

亞國新大統領が言明

辭任聲明發表

赤軍反擊次第に低下

屏東市長務 關係會議

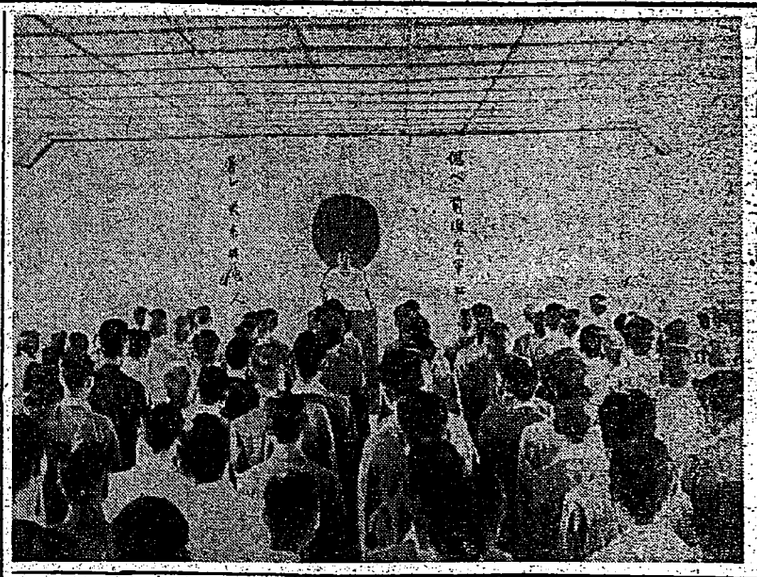
人事

腦 光明丸 腦の病、全身神經系統諸症、頭重、肩凝、高血壓、脳溢血、記憶思考精力減退、小心恐怖症、癲癇、耳鳴、耳鼻病、不眠 定價 二円・十円・十五円 代理店 丹平・武田・小林 顯成閣

ビオスゼリー 台北・藤田・水谷

齋藤本部長新竹州下査察

寫眞は桃園郡役所に於ける本部長の訓示



齋藤さん新竹へ

皇奉の陣頭に起て

戰ふ桔俱員に懇篤の激勵

感激新た「大詔奉戴日」

戰力增強もて仇敵撃滅

鶴嘴部隊を表彰

三十二鑛區と五團體

一日一世帶一錢

これで建艦だ

よせ起に敵滅よ民島

生米嚙つて追撃

拔刀して敵陣に突入

傷痍勇士に聽く

ニューギニア作戰

救へ、我が隊長機

敵襲下、護る僚機

大空彩る荒鷲魂の華

翻る日の丸

稔る穗の波

全機の收容を見屆け

魂がいふ「終り」の報告

司令も泣く○○大尉の鬪魂

常に變らず

部下機を收容

同軸無裝荷ケーブル電話

昭和二十年に東京、大阪間も完成す

飛行服の下

淋漓たる血潮

工業臺南州建設

中小工業振興に積極

後二國志

(117)

吉川英治作

矢野橋村畫

積極強壯的劑 ラクビ 全身に溢れたる活力を與へる 發賣元 株式會社 林源十郎商店

臺灣日日新報

中支、緬甸方面に猛威
百四十二機撃墜破
陸軍航空部隊赫々戰果

【東京電話至急報】大本營發表（六月八日十五時三十分）

一、今次江南作戰に於て地上部隊に協力中なる支那方面帝國陸軍航空部隊は六月六日迄に敵飛行機に對し次の損害を與へたり
撃墜十七機、地上に於て炎上二十二機、同期間に於ける我が方の損害自爆四機なり
二、緬甸方面帝國陸軍航空部隊は引續き東部印度に對する進攻作戰實施中にして五月一日より六月五日迄に敵飛行機に與へたる損害次の如し
撃墜六十三機、地上に於て撃破又は炎上四十機、同期間に於ける我が方の損害自爆又は未だ歸還せざるもの九機、大破二十四機なり

重慶今冬が重大危機

梁山で廿數機を撃攘
恩施も強襲飛行場爆碎

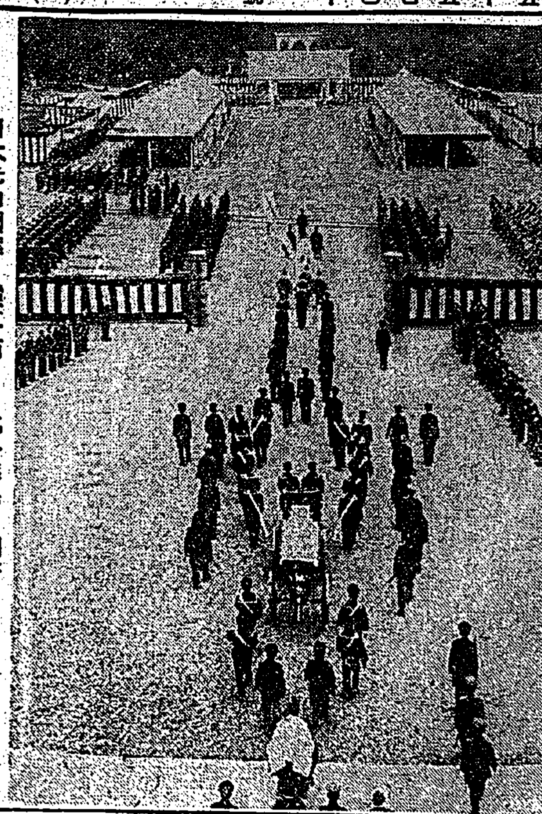
敵に徹底的鐵槌
北支軍　五月中の主要作戰

河北省方面

山東省方面

山西省方面

荒鷲衡陽、邵陽、芷江
更に龍溪を爆撃



山本元帥國葬　靈車肅々日比谷葬場に到着

決戰生産、生活に主眼
七月十四日から四日間　一億國民の總常會

政府提出法案八件

事前審議日割

内閣及び各省委員任期延長

兩院現有勢力

定例閣議

河南省の戰果
五月中

地中海方面の戰局
目睫の間に展開か

盲爆の敵を邀撃
樞軸軍一週間の大戰果

マルタ島上陸英軍を撃退
艦艇數隻撃沈

證券取引所首腦内定
總裁に井坂孝氏を起用

堂々の陣容

日鐵副社長に小島氏

爪哇の優秀警察官
臺灣へ留學決定

亞國新内閣中立維持
革命の原因は内政

アルゼンチン新内閣顏觸れ

比島の内務部長官
兇漢に狙撃さる
生命に別状なし

行政長官部の發表

人事

けふの官報

常に備へよ
援護保険取扱　戰爭死亡傷害保険
相互組織　千代田生命

結核時の榮養補給に
ビタミンB劑
オリザニン
三共純良薬品
結核諸症に伴ひ易き盗汗、食慾不振、榮養障碍等、病菌に對する抵抗力減退にオリザニンの投與は症状を著しく好轉せしむることが臨床醫家に認められてゐる。
（末・錠・液・エキス・注射液）
三共株式會社　東京・室町

相撲と野球　六月號發賣
聖戰と相撲　定價九十錢
特輯 決戰への相撲道
落下傘部隊と相撲
轉換期の相撲道
相撲への情熱
土俵に鍛へた闘志
海軍魂・相撲魂
土俵をめぐつて對談
阿波相撲の記
一高時代の野球
精神野球の強化
戰ふ野球選手の手記
再び投手板に立つて
日本野球半額券
東京日本橋　博文館

化機械　6月號　價50錢
國防科學雜誌
火砲と火薬の特輯
軍需資源讀本
溫度の科學
國防と電氣通信
山海堂

技術新書・新刊
自動車の電氣裝置　金澤修三著
海綿鐵及び粒鐵　垣内富士雄著
切削刃物の設計と實際　竹谷勇一著
金屬合金の防蝕　遠藤彦造著
和鋼和鐵　前田六郎著
特殊鋼の理論と實際　永澤清著
抵抗熔接の理論と實際　三浦泰信著
河出書房

第一万五千五百四十一號　（第三種郵便物認可）

本島炭、全面增產企圖

最高販賣價格改正（需要者價格は据置）

一日生産を二千噸に増加、販売機構も一元化

統計の基礎を確立

勞務動態調査規則改正

「公共的使命を擔當」

證券取引員制度改正

清水溪天然堰堤視察記【下】

天惠の利活用の鍵

問題は「雨期の結果」如何にある

本島の低金利政策要請

金融協議會積極發動

交易營團近く發足

將來の機構再編必至

木材統制規則改正

一層の強化を企圖す

木造船會社設立へ

業者の統合進捗

南日本漁業第一回設立委員會開催（十日）

「企業整備問題」懇談會

戰爭と愛情

一粒の米でも…

增産に勵む義勇軍

洋裁が……自宅で習へる

涙ぐましいその努力
皇民の意氣正に歸る
明るい印刷
精美堂
ごま鹽
石瓦

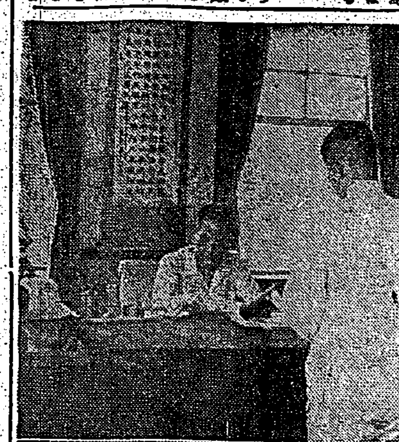
涙ぐましいその努力
皇民の意氣正に昂る
齋藤本部長 視察總決算談

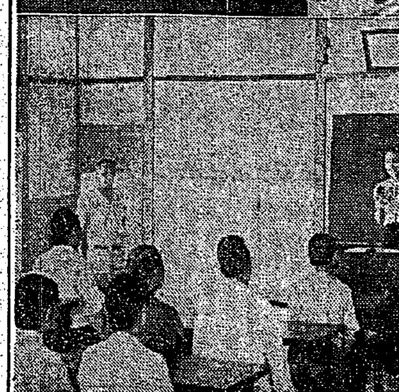
邊陬の地まで奉公運動熾烈

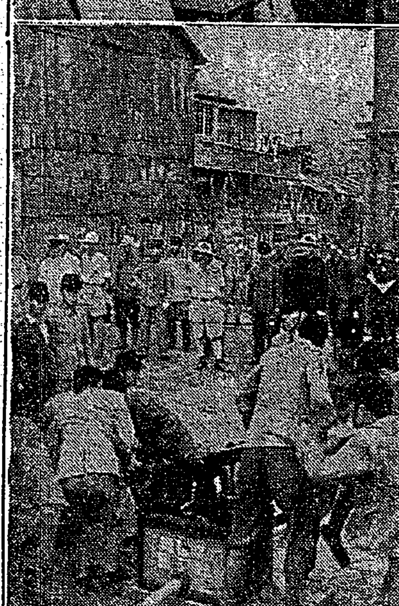
老若共に國語習得に懸命

臺灣一家の實現は部落が基

農村に奨めたい健全娛樂







祖國に"汗"を捧げよ
指導者層に熱烈の訓示

齋藤さん新竹州苗栗郡下を査察

動員訓練を

お神さんと貯金問答

醜の御楯へ熱血沸る

六百名一丸 海軍志願

胸をうつ血書嘆願

陸軍へ國民學校兒童

初の後期生十日歸郷

戰力增强へ起て銃後
烈士に應ふ唯一の途だ

【東京支社特電】

埼玉縣下にお成り
戰ふ婦人を御視察
畏し 北白川宮故永久王妃殿下

生活切下げこそ急務

富田さん 常會に放送

生活體制を

山本精神の

海上の船も

常會に陣頭指揮
梁井知事、蘊蓄を傾く

"臺灣第一・十二日進水

賴もしや社衆の態度
田中警務課長 遺族弔問を語る

アッツ島の烈士に弔慰金

殉職警官遺族に見舞金

大東亞戰爭記念事業 公林造成地を視察

ロイマチスにしっぷ デルモライツ

商奉花蓮港廳支部發足す

今夜盛大な科學講演大會

十六、七の兩日徵兵檢査

十日、市長郡守會議

今日の映畫

大世界 15日マデ／台劇 10日マデ／新世界 9日マデ／芳乃館 12日マデ／芳明館 11日マデ／城南映劇 12日マデ／萬華劇場 15日マデ サクラ新劇團／太平館 15日マデ／第三世界 11日マデ

基隆・羅東地區

基隆世界 9日マデ／旭劇場 10日マデ／大和劇場 10日マデ／羅東座 18日マデ 國風劇團／基隆座 9日マデ／中央劇場 10日マデ

臺北州合同映畫

9日ヨリ13日マデ 日本ニユース 7時0分 貨物船 7時10分 雨の夜 7時42分 平日二回・土・日三回 東寶國際館

國報康健 ◎戰時だ働かう 冷症・神經痛・ロイマチス 各種皮膚病・溫泉風呂に ミネラール 臺北州賣藥製造工業組合

齒科 澁谷醫院 臺北市若竹町一ノ二 電話二八八九番

齒科 鎌田醫院 臺北市京町三ノ八 電話九三三〇番

齒科 澤熊醫院 臺北市壽町三ノ四九 電話七六八一番

辯護士 竹内吉平 臺北市太平町二ノ九七 電話七參貳九番

會葬御禮 余聰明

四男信四郎儀 豫而病氣療養中ノ處藥石效無ク昨八日午前七時三十分死去仕候間此段謹告仕候 父 早乙女由松 早乙女綾子 岡山敏爾 牧瀨修造 龜尾新太郎

父虎雄儀 臺北帝大病院ニ入院加療中ノ處六月八日午前三時四十分死去仕候 男 足達ツチノ 女 小川豐子 猿渡次三郎 甚喜

荊妻イノ儀 永く病氣の爲め帝大附屬醫院へ入院加療中の處藥石效なく六月七日午後十時十五分永眠仕候 男 末松昭男 末松重太郎 松尾長門 小野新平 宗像延傳 白石益男 宮本八男 松尾伊要

母順子儀 六月八日午前二時八十七歳ノ高齢ヲ以テ死去仕候 岸喜鑑 横地鋭二 横地石太郎 廣瀨太郎 阿部定雄 坂元軍二

荊妻榮儀 七日午後十一時二十分中醫院ニ於テ死去 橋本基雄 甲斐文彦 濱中正志郎 濱中弘行 高士主一郎

君ノ街葬チ來ル六月十二日午後一時 樹林驛前街公會堂ニ於テ神式ニ依リ執行可致候 呂文良 部辰太郎

第二期決算公告 第六期決算公告 資生堂臺灣販賣株式會社

石瓦 吉本商行

明るい印刷 精美堂

五分搗の御飯に慰問袋に是非・・・ ごま鹽

盡忠松岡鑑三軍曹 (中)

深夜に開く家族會議
時代の花形少年航空兵

【臺北】の旅舍に居つた鑑三少年は翌日臨時少年航空兵志願の決心が昇するばかりであつた、そしてどうしてもうつとしてゐられなくなつた鑑三は或る日突然父の承諾を受けるため生家に駆けつけたのだ

「お父さん」

その呼聲を父磯四郎は夢うつつにきいた、まだうつき床についたばかり、寝入つたばかりであつた

「お父さん！」

磯四郎が眠い眼を無理にあけてみると寝室の入口に鑑三が立つてゐる、鑑三は臺北にゐるはずなのに……、鑑三？鑑三が今頃家に歸つてくるはずがない、夢なのかしら不吉な夢……、ハッと驚き上半身を起して鑑三の姿を見直した正に鑑三である

「鑑三何うしたのだ、何しに歸つたのだ」

鑑三は父の近くに寄つてくると一枚の白い紙をつきつけた

「お父さん、これに判を押して下さい」

磯四郎は差し出されたその紙片をうけて目を注ぐと、それは少年航空兵への志願書である、そして父親の承諾書に認めの判を押せといふのである成程鑑三、二三日前の新聞にも少年航空兵志願の記事が出てゐた、磯四郎には初めてわけが分つた、鑑三はその少年航空兵を志願してゐるのだ磯四郎は改めて息子の姿を頭の先から足下まで見直した磯四郎の胸には歡びがもり上るのだつた、併しさり氣なくその「志願書」を枕元に置いてそのまま身を床の上に横たへた、目をつぶつた、鑑三は忍び立つと志願書携へて臺北の家路からこの親分に歸つて來たのだ父親にはその息子の氣持が分るのだつた

「分つたよ、明日の朝押してあげるよ」

「今押して下さい！」

「それは無理だよ、今は何時だと思ひますもう十二時近くだよ、明日の朝にしなさい」

「お父さんが分つたら、判を押しさへすればいいんだ……」

「駄目だよ、明日の朝、〳〵」

「厭です、今決めて下さい！」

父親は息子が一度言ひ出したらいやでも通さねばすまさぬ氣性を知つてゐるとうとう苦笑しながら身を起した

「わがままな子だね」

……かうして家に

【深夜】の家族會議が始まつた

「鑑三お前はお前が志願してゐるところがどこか分つてゐるかね」

父親は靜かに併しその眼の輝きはいいかげんな返事は許さぬぞとの心をみせてきいた

「うん！」

鑑三は強くうなづいた

「軍人の學校ですよ、お前が考へてゐる様な生やさしい學校ではありませんよ」

「分つてゐます！」

「さうだお父さんのおつしやつた通り入つた以上は途中でいやだから辛いからといつて止められるところではないぞ今までの様なわがままの許されるところではないぞ」

兄の美佐男は自分と違はない弟がつきりしてゐる弟の決意を目認しながら口を入れた

「大丈夫です、僕だつて日本の軍人がどんな訓練をうけてゐるか位は知つてゐます、途中で苦を訴いたり止めたりすることが、ただ僕だけの恥ではなく臨時一家の恥、いいえ、僕は本島人全體の名譽が僕の肩にかかつてゐるのだと覺悟してゐます、もし學校に入れたら、僕はもうただの臨時家の子供ではありません僕は日本軍人となるのです、命をお國に捧げるのですお國の爲なら死ぬることも何でもありません！」

「うん！」

父親はその息子から目を離さず、その言葉が胸底から出た一句のものであり、深い覺悟と決心に基いてゐることを見抜いた

「それで兄貴に合格しようかへ」

母の時代が身を乘り出してたづねた

「きつと合格してみせます、もし今年だめだつたら來年やる！來年でも再來年でも！」

一同は鑑三の氣魄に押された、そしてその民族な熱情を喜び感謝させられたのだつた、ただ意識り父のは果して鑑三が見事合格してあの嚴しい訓練と生活に堪へ得るであらうかといふことであつただがその不安も鑑三のしつかりした言葉と氣魄の中にだんだん薄らいでいつた、承諾書への捺印はかうして慌ひがけぬ深夜しかも臨時に決行されたのだつたそして昭和十三年四月一日臨時鑑三は本島少年最初の航空兵たるべく、東京陸軍航空學校に晴の入學を許可されたのだつた

【鑑三】が歸つて來る！ [illegible]

[illegible]

「偉勲薫る譽の軍屬」

南支に活躍 故劉陸軍通譯

【新竹電話】新竹州中壢郡中壢街出身故劉[illegible]氏は昭和十四年以來陸軍通譯として南支各地で[illegible]の[illegible]を受けて[illegible]昨年春南支○○で[illegible]死を遂げたものであるが、同君は[illegible]

[illegible]兄弟である、中壢街の遺族は父親[illegible]○○で活躍してゐると云ふ譽れの氏は語る

[illegible]

故謝金方海軍工員

【新竹電話】新竹州中壢郡中壢街大[illegible]出身故謝金方[illegible]海軍工員として南方[illegible]

氏の[illegible]この[illegible]から

[illegible]

【寫眞は故謝金方海軍工員】

輝く勳八瑞寶章莊君
今尚海上輸送に挺身

【新竹電話】[illegible]

米英撃滅に活躍してゐる、留守宅に母[illegible]さんを訪へば[illegible]の如く語つた

伜は[illegible]國民學校を卒業してから船員になりたいと云つて[illegible]地航路の定期船で働き昭和十二年支那事變と同時に御國の爲○○船に乘組み御奉公してゐると[illegible]の通知を書面で知らせて來た

[illegible]

新竹市葬

【新竹電話】新竹市出身故[illegible]

[illegible]

若人よ征け、海の兵！
凄いぞ新竹州七千六百名

【新竹電話】新竹州下本島人[illegible]少年の[illegible]たる愛國の至誠は其の後[illegible]

[illegible]

新竹で志願兵入所
許可通知書手交

【新竹電話】新竹州[illegible]

[illegible]

建艦獻金に赤誠
高砂青年が五十六圓

【○○電話】○○[illegible]

(原文のまま)私達は今度防空監視哨の勤務を四月一日から命ぜられましたが海軍記念日の御話を監視哨の方々から聞かされ又大東亞戰爭の日本の兵隊さん方の働き等を聞かされましたが私[illegible]

[illegible]

少しづつですが話し合つて希望の人ばかり出しました、どうか立派な海軍のために軍艦を作るたしにして下さい

○○監視哨勤務補助員代表者 武田和三

馬公の大詔奉讀式

【馬公電話】八日午前八時から馬公では[illegible]において各部落奉讀式が[illegible]

[illegible]

空の防人へ

【高雄電話】高雄市内の[illegible]組合では共同にて金五百圓を空の防人へ獻金方支廳へ申出た、又[illegible]

新竹州下視學會議

【新竹電話】新竹州では[illegible]

更に續く空の防人へ寄金

【高雄電話】[illegible]

工業戰士に晴の殊勳
高雄州で勤勞章授與式

【高雄電話】[illegible]

[illegible]

石原部隊長某要職へ

[illegible]

臺東で曉天講演會
時の記念日に趣旨の徹底

[illegible]

新竹州貯蓄
達成に邁進
市郡勤奮課長會議

【新竹電話】[illegible]

舊蹟赤崁樓の修築
經費五萬圓近く着工

[illegible]

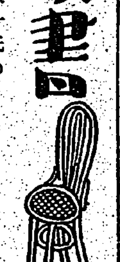
決戰へ舊慣打破
淡水街寺廟祭禮に自肅

【淡水電話】[illegible]

讀書

中河與一氏の『愛の意味』を讀む

西川滿



山本五十六元帥の世界に類なき光榮ある戰死は、如何ばかり日本國民の胸を感奮せしめたことであらう。しかも元帥は既に乘られる時、「異常」を携へられたと云ふことである。私は日本人としてどれくらゐ深い感銘を覺えたかしらない。

ドイツの指導者は、今日の戰爭を說明して「ゲーテやシルレルやワグナーの文化を守るためである」と云つてゐるさうである。中河與一氏は、その書「愛の意味」[illegible]

[illegible]

ラヂオ

[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部(六日)

[illegible]

海軍武官府(六日)

國防獻金　臺北市[illegible]

[illegible]

本日小說休載

急告!!
昭和19年度用
工業教科書
豫約通報書
青年學校用 工業學校用 6月10日締切
技能者養成用 工場鑛山用 9月30日締切
明年度用教科書も採用認定試驗の通報に基づいて供給されます。教科書御採用の御予定御報下さい。
財團法人 國民工業學院
東京・京橋・銀座六・交詢ビル

健康賢明 快通・快腦
故にイースト の服用を奨む
イーストものむと、[illegible]
イースト

案内 [illegible]
婦人 [illegible]
職員 [illegible]
監視 [illegible]
男女 [illegible]
內勤 [illegible]
香港 [illegible]
マニラ [illegible]
昭南 [illegible]
ビルマ [illegible]
海南 [illegible]
事務 [illegible]
洋裁 [illegible]
洋髮 [illegible]
金融 [illegible]
電氣 [illegible]
電話 [illegible]
電話 [illegible]
貸室 [illegible]
家交 [illegible]
貸間 [illegible]
引越 [illegible]
尋鳥 [illegible]
住宅 [illegible]
大猫 [illegible]
印畫 [illegible]
Xレイ [illegible]
擴聲 [illegible]
映寫 [illegible]
ピアノ・オルガン [illegible]
蟲下しは [illegible]
引越 [illegible]
陸上 [illegible]
京染 [illegible]
綴織 [illegible]
ヘルメット [illegible]
メガネ [illegible]
斷食 [illegible]
新古 [illegible]
結婚 [illegible]
アパート [illegible]
毛深 [illegible]

樂しい映畫が現れた
松竹大作
南の風
9日より
職場は總て乙旗だ！
東寶・國際館・臺北國際館

齒痛に頭痛はガオガンに限る

下痢に
消化機能の內部に於て有機性細菌有害性毒素その他の有害物質を吸着し、異常醱酵を制止する強化收斂コロイド膠狀散末なり
ジルベロイド
資生堂